

直方市立

直方東小学校

学校だより

2月号

文責 校長 波多野泰生

○ほめ上手、しかり上手 ～ほめてしかって育てる～

「注意することばかりが目についてしまい、ほめることがなかなかうまくできない」という声をよく聞きます。子どもたちはどの子も認められたい、向上したいという心を持っています。子どもをよく見ていて、たとえ小さなことでも、よい心やよい言動、努力したとき、それを見逃さずにタイミングよく、具体的に言葉にして、心を込めてほめることで、子どもの心に響きます。子どもは次もまたほめられたいと思って頑張ります。その経験が積み重なると、「自分はこのことができるんだ」「自分にはこんな良さがあるんだ」と気づくことで『自分のことが好き』と思うことができるようになり、心にちょっぴりゆとりが生まれます。そして、周りに目を向けることができるようになり、友だちもほめてあげたくなります。友だちのいいところを見つけては、ほめてあげられるようになると、互いにより面を認め合い、伝え合い、友だちや周囲の人を力強く支えようと思うことができるようになります。そして、自信が持てるようになります。学校の中でこのようなサイクルがたくさん生まれるよう子どもたちを支援していきたいと思っています。そして、学び合い、高め合う集団へと成長して欲しいと願っています。また、一方で「しかれる大人も少なくなった」と言われています。悪いときは見逃さず、その場でしかり、聞いたことであれば、事実を確かめ、真偽を確かめてしかります。感情的に長々と怒鳴られたり、前のことにさかのぼってしかられたり、きょうだいと比較してしかられたりすれば、子どもは反抗心や失望感が先に立ちます。子どもが素直に過ちを認め、行為を是正するには、子どもの人格を否定せずにその行為をしかることが大切です。さらに、発達段階に応じて、子どもが納得するようにその善し悪しを諭していく、それが大人の役目だと思います。

「ほめ上手」と「しかり上手」の大人でありたいものです。

○2月2日は豆まきですか、恵方巻きですか？

節分の日が、今年例年より1日早い2月2日になるそうです。1897年（明治30年）以来、124年ぶりのことだそうです。【例年は2月3日です】この「節分の日」を決めているのは、国立天文台です。地球が太陽の周りを回る公転の周期が、1年きっかりではないことが原因のようで、微妙なずれが積み重なった結果です。さて、その「節分」ですが、「暦」には季節が始まる日があります。【立春】【立夏】【立秋】【立冬】です。その前日を「節分」と言っていたそうです。文字通り「季節を分ける日」です。それがいつの間にか、【立春】の前日を節分と言うようになったそうです。もともと日本では、元日が立春で、そうなる節分は大晦日ということになります。清らかな状態で新

【裏面につづく】

年を迎えたい、新しい年の前に豆をまくことで厄を祓いたい・・・、そのような考えから豆まきが始まったと言われています。節分の豆まきと言えば、誰かが鬼の面をつけ、その鬼に向かって豆をまく。そんなイメージを持っています。いくつか豆まきの方法があるので、豆をまくときは、家中の玄関や窓を全開にし、奥の方から順に玄関までまき、「鬼は外、福は内」というかけ声をかけます。まき終わったら部屋の窓や戸はすぐに音を立てて閉めるそうです。鬼が戻ってこないようにするためです。最後に自分の年より1つ多い数の豆を食べて終わりということになります。どうでしょうか？みなさんのご家庭では豆まきをしていますか？近頃の節分と言えば、豆まきより「恵方巻き」の方が盛んなのかもしれない。スーパーやコンビニのTVコマーシャルでは、安くておいしそうな巻き寿司から1本3000円の豪華な巻き寿司まで積極的に売り出しているようです。

恵方巻きとは、

1. 節分の夜に
2. その年の恵方に向かって
3. 黙って願い事をしながら丸かぶりすると
4. 厄除けになる・願いが叶う

という太巻き寿司のことです。恵方とは歳徳神（としとくじん）のいる方向で、その年の福をつかさどる神様で、縁起の良い恵方だそうです。2021年の恵方は南南東だそうです。私自身は、流行に抗うのが好きで、まだ一度もこれを食べたことがありません。たまには、2月のバレンタイン商戦を盛り上げるお菓子業界のように、恵方巻きを商機と捉えているスーパーやコンビニ各社の流通業界に乗せられてみるのも良いのかな？とも思っています。ちなみに、恵方巻きを始めたのは、コンビニ大手のセブン=イレブンだと言われています。ただ、日本中が恵方巻き商戦に巻き込まれる中、ここ数年、農林水産省が売れ残った「恵方巻き」が大量に廃棄処分される問題が話題となっていることなどから、コンビニ業界やスーパーの業界団体に対して、需要に見合った販売をするように通知を出していることも気になります。農林水産省としては「少しでも食品廃棄物を減らして、環境に優しい取組を企業に求めている」のだろうと思います。東小学校でも社会科見学をはじめとして、さまざまな環境教育を学年によって取り組んでいます。ご家庭でも食べ残しや食品廃棄等について、少し話しをしていただいて、南南東を向いて、恵方巻きをおいしく食べてください。

蛇足：今年からしばらくは4年ごとに2月2日となり、2057年の次は2058年で2年続くそうです。